



今年も八月一日（木）に、夏休み恒例の福祉スクールを開校しました。

佐々・口石の両小学校から二十四名の参加がありました。

今回は「初めて」が二つありました。一つは、「車いす体験・講話」に当事者の方にご協力いただいたことです。障害を抱えていても調理実習や高齢者との交流活動へともに参加し、心のバリアフリーに繋がったことと思います。

もう一つは、清峰高校から3名のボランティア協力を得たことです。年代の近い高校生をサポートを受け、安心して活動に取り組むことができました。

猛暑にもかかわらず、参加した児童の皆さんは元気いっぱい。体調を崩すことなく、無事に終了することができ、当初の目的を達成することができました。

ご協力いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。



車いす体験へ Let's Go!



車いす体験・講話

車いすの生活で、大変なことは何ですか？



車いす体験の後、町内にお住まいの岡本さんご夫婦にご協力いただき、車いす生活に至った経緯や日常についてわかりやすくお話していただきました。その後のプログラムにも参加してくださいました。

開校式

「今日一日を通して、優しい心を育んでください。」



来賓の黒川教育長から参加児童に激励の言葉をいただき、福祉スクールがスタートしました。



ボランティアの高校生も一緒にランチタイム♪



「こうやって切るとよ」



「しっかり食べて、元気に過ごしましょう」みどり会小林会長から食の大切さのお話がありました。



食育(調理実習)



岡本さん普段から料理されるそうです。



管理栄養士さんが作り方をわかりやすく説明してくださいました。

食育の時間は、健康相談センターの管理栄養士さんによる講義を受けました。ジュースやお菓子には想像以上に砂糖が入っていてビックリ！講義の後にはみどり会の皆さんと一緒に「ドライカレー、イタリアンスープ、ヨーグルトゼリー」を調理しました。



一日を振り返ってみましょう。

簡単そうでこれが意外とむずかしい。みんなで協力して完成をめざそう！



生きがい教室では、パズルを作りました。仕上げは、木工の名手をお願いしました。利用者の皆さんも興味津々。



閉校式



よくがんばりました！

高齢者との交流活動



デイサービスでは、ペットボトルのキャップを再利用してコマを作りました。



出来上がったコマでゲーム